

つばさ

平成29年度 生涯学習課だより

第302号(6月)



教育長 佐々木浩治

早いもので今年も6月を迎えました。6月の北海道は、本州の人から見れば「爽やか」なイメージを持たれると思いますが、意外と「蝦夷梅雨」や「リラ冷え」の言葉があるように、天候不順になることが多い月でもあります。

私も以前、青少年施設に勤務していた頃、野外授業の指導をしていましたが、その当時から「6月は雨が多いな」と感じておりました。そうはいえども、6月になると北海道でも晴れた日には気温も上がり、絶好の野外活動日和となります。

そのようなことから、本町においても先月の20日には豊浦中の体育祭、4日には恒例の「いちご豚肉祭り」が開催され、雨天の中にもかかわらず、遠方からも多くの方々が訪れていただき、会場も賑わいを見せておりました。

また、10日には豊浦小・大岸小、11日には礼文華小で運動会が開催され、保護者の方々をはじめ、おじいちゃんやおばあちゃん、そして地域の方々を交えての競技などで、大変な盛り上がりを見せてくれたのではないかと思います。特に運動会は、1年間子ども

の成長が感じ取れる学校行事であります。きっと、その日の家庭の会話には着順だけでなく、最後まで頑張れたことやしっかりと演技ができたことなどが話題となっていたのではないかと考えます。

また、6月は体育会系の部活をする中学生にとって、とても大事な中体連の地区大会が始まります。この大会は、全国大会へとつながり、その種目の日本一を決める大会なのですが、トーナメント戦で行われる競技では、一度負けると次の試合に進むことができません。このような厳しい大会だからこそ、中学生は夢中になって部活動に取り組むのだと思います。

この大会で練習の成果を発揮するためには、個人ごとの体調や精神状態を整えることはもちろんですが、団体競技ではチームワークなどいろいろな面をベストの状態にしなければ、自分やチームが持っている力を十分に発揮することができません。

ぜひ、これらのことを考えるとともに、部活動への参加を応援してくれるの方々に対する感謝の気持ちを持って、精一杯試合をしてきてください。応援しています！

平成29年度公民館講座が始まりました！

小幌海岸探索会

5月13日(土)開催



天気が心配でしたが、幸いに曇りにとどまったものの、先週とは打って変わって寒い！

それでも、一般参加で30名の方々にご参加いただきました。今年は円空上人出身地の岐阜からいらっしゃる方や、伊達緑ヶ丘高校の生徒さんの参加もあり、昨年とはまた一つ違った盛況ぶりでした。ご興味のある方は、来年企画時にご参加ください。

